

# 北九州医療・介護連携プロジェクト会議 第13回合意事項等

日時	令和7年3月25日(火)19:00～20:30		
場所	北九州市役所庁舎 3階 特別会議室 A		
参加者	門司在宅医療・介護連携支援センター	飯田 稔	○
	北九州市歯科医師会	石田 力大	○
	小倉医師会訪問看護ステーション	泉 千秋	○
	福岡県介護老人保健施設協会北九州ブロック	大村 智士	○
	福岡県理学療法士会	志田 啓太郎	○
	ケアマネット21	白木 裕子	欠席
	北九州高齢者福祉事業協会	曾我 満美	○
	福岡県医療ソーシャルワーカー協会	高山 由磨	○
	福岡県作業療法協会	玉野 和男	○
	福岡県介護支援専門員協会	坪根 雅子	○
	北九州市薬剤師会	安田 和義	○
	福岡県看護協会	湯元 照子	○
	北九州市医師会	吉田 良	○
議題1	<p>【「とびうめ@きたきゅう」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関での活用がさらに進むよう、検索ヒット率向上に繋がる広報活動や普及啓発など、各団体においても、より効果的な方法を工夫しながら登録を促進していく。</li> <li>○登録後も有効的に活用できるよう、住所や緊急連絡先の変更などを登録者情報に反映できるような仕組みを検討する。</li> <li>○マイナンバーカードのオンライン資格確認による医療情報の連携は類似した取組ではあるが、緊急連絡先や介護情報など、優位性がある間は「とびうめ@きたきゅう」の取組を推進していく。</li> </ul>		
議題2	<p>【「医療・介護連携ルール」等活用状況の調査結果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○より迅速な医療・介護の連携促進に向け、次回調査時は、介護報酬改定に伴う入院時情報連携加算(入院早期の情報提供を評価)の見直しの趣旨を踏まえた「医療・介護連携ルール」の周知徹底を図る。</li> </ul>		
議題3	<p>【「病院窓口ガイド」の改訂等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者入院時の情報提供方法や提供先が記載されており、安心して連絡することができる。好評であり、引き続き取組を継続する。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者救急が増え続ける中、ACP(人生会議)の普及や活用を促すための取組の検討が必要。</li> <li>○今後、増加が見込まれる在宅医療・看取りについて、市民への周知だけでなく、医療者への教育も必要。</li> </ul>		